

# TSU NA GA RU

一人の子どもや若者も取り残さない社会をつくる  
さいたまユースマガジン

10 / 003  
2022

- つながる -

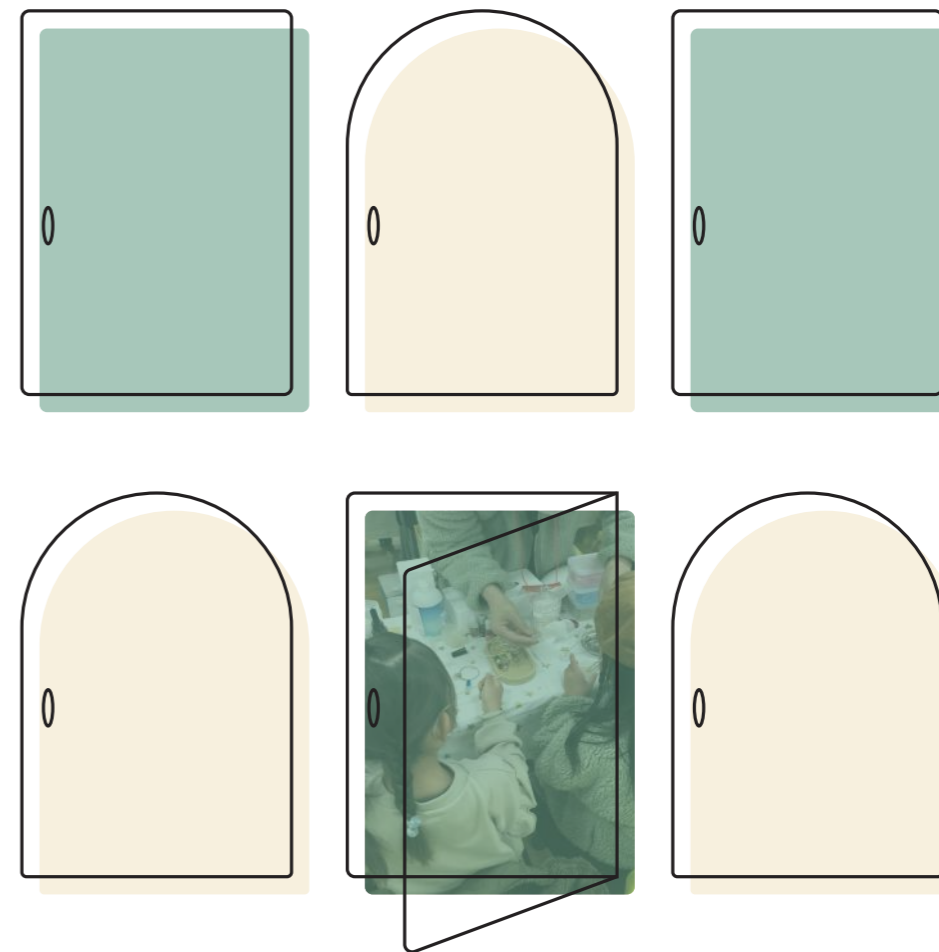


## どんな秋？

特集

芸術の秋-利用者の作品集-  
堀崎プロジェクト

NPO法人さいたまユースサポートネット  
saitamayouth



NPO法人さいたまユースサポートネット  
<https://saitamayouthnet.org/>



## 堀崎プロジェクトで育てる子どもたちの創造性と表現力 — 晋平太のラップ講座と子どもたち —

磯田三津子  
(埼玉大学教育学部准教授)

さいたまユースがすすめている地域社会との協働を目指す「堀崎プロジェクト」では、4月から9月までの半年間、ラッパーの晋平太を招き、子どもたちとラップをつくる活動を展開してきた。ラップとはヒップホップの一部であり、ことばの担当である。その他にグラフィティアート(美術)、ブレイクダンス(ダンス)、DJ(音楽)がある。それらを総じてヒップホップという。ラップ講座では、色々なテーマでラップをつくった。4月一番初めに取り組んだのは自己紹介のラップである。「わたしってこういう人なんだ」ということを友だちに伝える。



あつという間に子どもたちは、出身地、趣味や特技、将来の夢についてリズムにのって語り始めた。夏の終わりには、「夏休み、楽しかったこと」「夏休み、大変だったこと」「秋にやりたいこと」をラップで語り合ったりもした。「キャンプに行って川で泳いだこと」「宿題が大変だったこと」「秋になったら落ち葉拾いをして家の前をきれいにしたいこと」などである。子どもたちがお互いのラップを聞き合っていたのも大切な活動であった。みんなの前でマイクをもって発表する子どもたちもいた。発表の後には「上手!!」という声と、大きな拍手がわき起こった。特に、4月から継続して通っていた子どもは表現も豊かで大きく成長していた。

学力は学校の授業で先生から教わることだけではない。学校や塾で知識や技術を習得することももちろん必要である。しかし、「わたしを伝える表現力」・「ことばを考える創造力」そして友だちの表現に心を傾けることも、子どもたちがこれから生きていくための大切な学力である。

ラップ講座で、子どもたちは、「わたしの考えを伝え、友だちの思いを聞く」、その大切な学力を育(はぐく)む、第一歩を踏み出したのである。



埼玉大学 教育学部准教授  
**磯田 三津子**

広島県生まれ。東京学芸大学大学院連合学教育学研究科卒業し、博士(教育学)取得。  
主著『京都市の在日外国人生徒教育と多文化共生--在日コリアンの子どもたちをめぐる教育実践』明石書店 2021年、『音楽教育と多文化主義--アメリカ合衆国における多文化音楽教育の成立』三学出版 2020年 他

## コモンズの可能性

「コモンズの可能性」をテーマに代表 青砥 恭と多様なゲストが話します。【さいたまユースのYouTubeで視聴できるものもあります】



YouTubeプレイリスト「コモンズの可能性」

### 子どもをはぐくむ 地域のチカラ #01

2022年9月22日(木)  
オンラインで開催されました

NPO法人さいたまユースサポートネット



汐見 稔幸  
しおみ としゆき  
東京大学名誉教授

## 子どもをはぐくむ 地域のチカラ #01

保育・幼児教育の第一人者である汐見 稔幸さんが「教育」を語ってくれました。学校や教師だけでなく、親や地域の人が、子どもたちのために何ができるのか、一緒に考えませんか。

### POINT ①

子ども・若者が自立する為の地域が果たす役割を分かりやすく説明。子ども若者の自立とは何か。無縁社会になって、地域がその大切な役割をはたせなくなっており、もう一度、縁の世界を作り直そうと提言していただきました。子ども・若者の自立を育てる

地域とはどんな地域でしょうか。対談では、太田さんのファシリテーションのもと、ゲストスピーカーの汐見氏とさいたまユースサポートネットの代表青砥が、それぞれの実践を通して、地域の課題と地域像を明らかにしていきます。

講師 汐見 稔幸さん

対談 汐見 稔幸さん/さいたまユースサポートネット代表 青砥 恭/ファシリテーター 太田 美由紀さん

### 令和4年度の講演



### 地域で子育て・若者支援 #01 はじまりは若者の困りごとから

対談 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 松田 考さん  
NPO法人サンカクシャ 荒井 佑介さん  
さいたまユースサポートネット代表 青砥 恭

札幌市、池袋、さいたま市、それぞれの地域で子ども若者の支援を実践している3人が様々な課題を抱える子ども若者の現状と課題を現場視点で語り合いました。



### NPO法人 さいたまユースサポートネット LIVE 『貧困と格差が広がる社会で子どもの居場所を地域でつくる』

対談 「こどもの里」館長 荘保 共子さん  
さいたまユースサポートネット代表 青砥 恭

「私たちがどう具体的にアクションを起こし、子どもたちが希望を持てる社会に変えていったらいいか？」を共に考えました。



### 若者の生きづらさに寄り添う —自立に向けて家族・学校・地域ができること

講師 和歌山県精神保健福祉センター長 小野 善郎さん

現在の若者の苦悩はどこからくるのでしょうか。具体的性がない親の期待からくる不安感。学校教育への違和感。優しい眼差しで思春期の発達の視点から若者の苦悩を分かりやすく語っていただきました。



### さいたまユースサポートネット 公式YouTubeチャンネル



講演会やオンラインイベントの様子を主に発信しています。当日参加できなかった！という方も、ぜひチャンネル登録をしてアーカイブをご覧ください。



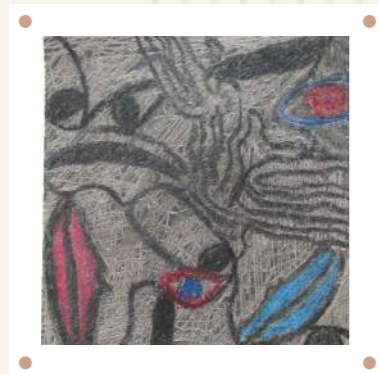
みんなの作品

# 芸術の秋

各事業を利用している方々の作品集です。絵画から造形まで、さまざまな作品をお楽しみください。



A.S



オイルパステル画

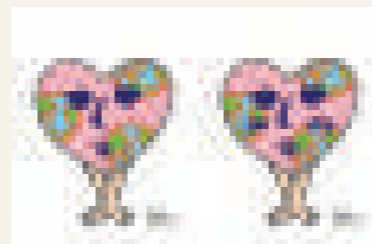


オイルパステル画

## みんなの短歌

- 新人戦 三回勝てば 三回戦目 強豪校 (O.J)
- 体育祭 雨が降ったら 意味ないじゃん でもそれでもね 気合い入れるわ (K.Y)
- 日本橋 迫力あって 美しい 観光客も 景色の一部 (M.K)
- バスケット 仲良い友と つきのもり ツーオンツーで とても楽しい (S.A)
- 赤色や オレンジ色の もみじがね ひらひらと舞う 色とりどりに (S.A)
- 体育祭 君と同じ ピンク色の 鉢巻巻いて 全力疾走 (S.R)
- 体育祭 協力し 団結し 精一杯 絶対勝つぞ (T.K)
- 秋の夜 少し冷たい 秋の風 紅葉ひらり 風にながれる (T.M)
- 見せつけろ 仲間の絆と 練習の成果 一致団結 突っ走れ！ (Y.M)
- 紅葉の 色合いながめて 穏やかに きれいなままの 散りゆくもみじ (Y.M)

## ユースのキャラクター案



利用者同士で「クール」「笑顔」の2種類のユースのキャラクターを考えてみました。

丑

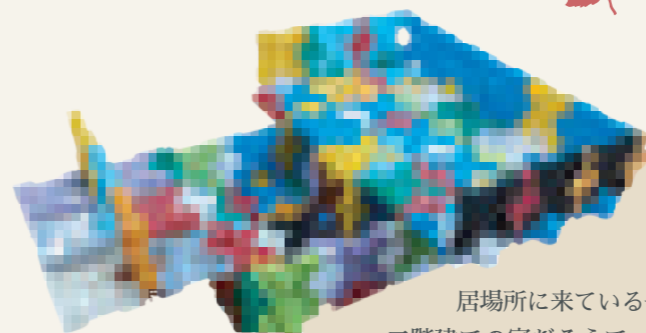


だるま

寅



伝統工芸の体験で物を作るのが好きです。—— K.I



居場所に来ている子どもの作品です。二階建ての家だそうで、倒れないように重さを調整したりして頑張って作っていました。見本もないのに作れてしまう子どもの発想力に驚きです！  
スタッフより



家かと思いきや、なんと車！  
タイヤをつけて走ります。

## クリスマスリース



## コマ撮り

フィギュアを少しずつ動かしてコマ撮りに挑戦！





# 協働

コモンズの可能性

## 地域づくり「堀崎プロジェクト」進行中

地域の方々が集い、顔を合わせて、声を掛け合い、「子ども若者を支える」場づくりである「堀崎プロジェクト」を進めています。「堀崎プロジェクト運営協議会」と研究者による活動の方向性を考える「評価委員会」を開催してしながら、プロジェクトを進めています。

# Horisaki Project

## 地域の課題に向き合うコモンズを

### 堀崎プロジェクト

さいたま市見沼区にて、地域の企業や学校、民生委員などと連携しながら子どもや若者の問題の解決と支援の充実を目指す「堀崎プロジェクト」を2021年にスタートさせました。



第3回  
5/20

### 地域の人々が中心の運営協議会



地区の自治会会長、民生委員、社会福祉協議会、NPO等多彩なメンバーに参加していただき、さいたまユースの活動紹介（映像）と現在の活動状況について報告、今後の在り方についてご意見とご感想をいただきました。外国をルーツに持つ子どもたちの支援については、勉強だけではなく地域とつながる体験の必要性、学校とのつながりの強化、保護者支援の必要性を訴え、「本来行政がやるべきところ、手が届かないところを担っている」との評価の一方で「この居場所をどうしていきたいか見えない」等の厳しいご指摘もいただきました。

回を重ねるに従い、内容が濃く有意義な議論となっています。今回のご意見とご感想を参考に今後も、より良い活動につなげていきます。

第4回  
8/31

### 研究者などが中心の評価委員会



大学の研究者、支援団体の代表等に参加していただきました。「支援が必要な人たちに情報をどのように届けて、知ってもらうか」など地域のニーズの拾い方を中心に議論がなされました。これまでの活動を評価していただくと同時に、コミュニティづくりは時間がかかるので、焦らずに地道に進めていくことが重要。また、量（人数）だけではなく質を大切に。子どもや保護者の声を大切にし、教育機関・関係機関とのつながりの重要性の意見が出されました。そこで、自治会の回覧板の活用、地域の企業・機関とのコラボの必要性が議論となりました。

地域とつながる、あなたとつながる。

## 子どもの居場所の大切さ

私たち、民生委員・児童福祉委員は、厚生労働省より委嘱を受けて、保守義務・個人情報を守ることが義務化されています。以前は、推選される方々は、地域で信頼があり優れた人格者で、多くの方々がその任についておりました。しかし、現在は、後任者がいなくて、欠員が多く出でております。少子高齢化で、私たちが必要とされている多くの方々が出ており、地域で安心して生活が出来るように、良き相談相手となり、行政関係機関など多方面へのつなぎ役となっております。

昭和23年より『民生委員・児童委員活動強化月間』が年1回、5月12日より1週間開催されています。この度は、見沼区役所ロビーでボード使用して相談窓口設置しております。地域の皆様に、日頃の民生委員・児童委員活動を知っていただく広報活動の一環です。大砂土東、春岡、片柳・七里4地区では、3年間コロナ禍に思っている活動が出来ていない中、創意工夫されながら、日頃頑張っております。一日も早くコロナ禍が終息されることを祈っております。



下段 真ん中が大川さん

昔も貧困な家庭はあったと思います。世間の人たちには、暖かな助け合いがありました。今は、助け合いの心が貧しくなっています。貧困家庭の子どもたちに手を差し伸べて下さっている『さいたまユースサポートネット』の代表の青砥先生、皆様方に感謝です。知って通える子どもたちは幸せです。大事なことは、『子どもの居場所』です。『ヤングケアラー』は大きな問題です。さいたま市『ケアラー支援条例』が出来ましたが、今後の取り組みは…。ヤングケアラーの子どもたちは「どこに相談したらいいか、話を聞いてくれる窓口はどこか」が分からない。過日放送された番組で「本当は学校にいきたくない。友達と会いたい。友達と話がしたい。」と男子生徒が言っていた。親には言えない！幼児や年配の寝たきりの世話に涙が止まりませんでした。「親とは何なのか」大事な子どもたちについて、我々大人の人たちがもつと真剣に考えることだと思います。一般の大人たちに『さいたまユースサポートネット』の事を知っていただき、どの様な小さなことでも、協力出来ることはしてほしいと思っております。

## 《 応援プログラム 》

### あなたのおかげで、 できることがたくさんあります。

たとえばコーヒー 1日1杯分のご寄付でも子どもや若者たちを救えます。

月1,000円

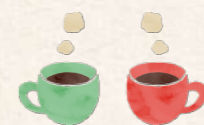
食事を児童3人に1日提供できます。児童に勉強を教えることができます。

月3,000円

食事を児童3人に3日間提供できます。子ども1人に体操着・上書きなどを提供できます。

月5,000円

食事を児童3人に5日間提供できます。絵具、書道セットなどを提供できます。



重大  
お知らせ

私たちさいたまユースは、クラウドファンディングを実施！初めての挑戦ですが、応援していただけるととても嬉しいです！



実施期間 11月4日(金)~12月16日(金)